

NEWS 未来に まっすぐ いけふち 佐知子 通信

2018No.2

(通巻118)

2018/11

吹田市千里山西

5-2-5 7社ビル

06-4861-7418

9月定例会が終わり、ほっとしたのもつかの間、決算常任委員会がありました。

2017年度の一般会計については、市民と歩む議員の会と他の会派の委員が不認定としました。最終的な議会としての決定は、十一月定例会で議決します。

健康福祉分科会から

いけふちが、委員である健康福祉分科会の質疑から主だったものをご報告します。

児童部、福祉部の補助金

保育所等移行施設運営補助金

質問 書類の記入漏れ、記載ミスではないかと思われるところがあった。書類受け入れのチェ

ックはどうなっているのか

答弁 担当者間でダブルチェックをして、不備、齟齬があれば、事業者には正を求めたのち、正式に受け取っている。今後はさらに丁寧に精査する。また今回指摘された点については事業者に書類の差し替え等を求める。

病児・病後児保育事業補助金

質問 予約数に対してキャンセル率が平均33.5%と高く、定数に対する入室率平均は49.4%と事業者側に負担になっている。子育てしながら仕事などしている人にとって必要な事業だと思うが、解決策、対応策はあるのか。

答弁 現在3か所ある事業者と連携会議を開き、各施設間でブックスで相互に情報共有し、

多くの方に利用できるようにしている。

生活困窮の子ども学習支援事業

質問 学習支援を受けている子どもの高校進学率が100%であり、たいへんよろこばしいことであるが、高校に行ったら終わりということではない。他部との連携はどうなっているのか。

答弁 まだ高校入学後の後追いまではできていないが、貧困対策のワーキングチームを開催し、情報共有に努めている。連携の方策を模索していきたい。

地域福祉推進活動補助金

質問 社会福祉協議会に対する同補助金の積算内訳の中で、補助対象活動に従事する職員人件費の10分の8.5を補助するとなっているが、業務内容や量は変わっていないのか。

答弁 平成26年度、交付要領を改正し、補助率を変更した。その後、業務内容、率は変わっていないため、補助率も同じとなっ

ている。

質問 シルバー人材センターの運営補助金は、社会福祉協議会と異なり、人件費補助の割合が決められておらず、毎年度同じ補助額であるが、いつから同じなのか業務内容や量は変わっていないのか。

答弁 平成12年から同額の2千万円余りの補助をしている。人件費等について変遷はあると思うが、補助額以上の人件費等も使われているので、一部補助という認識である。

質問 事務事業評価書には、「平成29年度から外郭団体として位置づけられ、透明性、公平性、効率性が今まで以上に求められる。補助金の算出根拠、金額等、補助内容の見直しが必要」と書かれている。見直しが必要ではないか。

答弁 平成12年度から同じ補助額である状況がある。今後、補助金交付要綱等について見直しの検討等を進めていきたい。



健康福祉分科会から

保育所保育料の収入未済額

質問 収入未済額等の過去5年間の推移をみると、**不能欠損額**は平成28年度は高かったが、全体として5年間で下がってきている。**収入未済額**も連続して下がってきている。何が功を奏したのか。

答弁 滞納対策について、平成22年度から専門の臨時雇用員を置き、滞納になった早期に対策を講じていくため、電話催促等に力を入れてきた。平成22年度から、現年度収納率も上がってきている。

介護ロボット等導入支援事業

質問 平成28年度に導入し、平成29年度、使用状況報告を得ているが、検証結果を問う。

答弁 事業者の希望に応じて国補助事業を行った。介護保険事業で人材不足の状況もあり、ロボット導入により介護負担の軽減、見守りの推進につながっている**良好な事業と認識**している。

たばこ対策推進事業

質問 平成29年度100万円の助成金であったが、決算書では58万1千円となっている。当初見込みと実績の差について検討、検証の結果を問う。

答弁 平成29年度、49名の市民が助成金申請まで至った。禁煙治療は約12週間かかるため、年度後半に申し込みをした助成金申請が平成30年度にずれている。**助成効果があったと認識**している。

決算常任委員会を終えて

約1カ月に渡って開催された決算常任委員会において、最終日の討論採決では、**市民と歩む議員の会として一般会計決算を不認定**としました。

<言葉の説明>
収入未済額 歳入として計上したが、徴収できなかった額
不能欠損額 督促等を行っても納付されずに時効になったり、法令に基づいて免除したりした額

いけぶちコメント 禁煙による医療費削減の効果研究もある。個人への助成事業をいつまで続けるか、判断は難しいが、考えていただきたい。

不認定の理由の一つは、**行政の事務執行が法令等に基づき行われていなかった**ことです。普通財産貸付に関して、「契約の前提となる貸付申請書を年度初めまでに提出させていなかった」「無償貸付契約のための減免申請書も提出されていなかった」「1年さかのぼる遡及契約であったこと」と不適切な事務執行でした。

2018年いけぶち佐知子議員会計報告 (2018年1月～6月)	
<収入>	
議員報酬	5,616,000
前期より繰越	660,318
収入計	6,276,318
<支出>	
事務所2F家賃	300,000
事務雑費	122,060
交通費	84,425
通信費	119,867
活動費	568,792
応援団(1F家賃含む)	432,000
税金	1,033,326
共済・互助会	739,000
国保	360,000
生活費	2,025,000
次期へ繰越	491,848
支出計	6,276,318

いけぶち佐知子事務所
吹田市千里山西5-2-5

平日 10時～15時 OPEN

いけぶち佐知子のプロフィール

- 1957年/和歌山県生まれ。
- 1979年/大阪大学薬学部卒業。薬剤師免許取得。
- 1994年/吹田市立女性センターに就職。地域の開発問題をきっかけに政治に関心を持つ。
- 1999年/市民のための市政を求めて立候補し、当選。
- 2015年/市議会議員5期目スタート。現在に至る。

子育て・教育、福祉、環境、まちづくりの市民活動にかかわる。百条委員会委員(2012～13年度)。吹田市監査委員(2013年度)。議会事務局研究会会員。「女性を議会に 無党派・市民派ネットワーク」運営スタッフ。